

平成23年度

大阪市立大学大学院法学研究科法曹養成専攻入学選抜試験

## 【2年短縮型】

# 法律科目試験問題：刑事法（配点：100点）

### 注意事項

- 1 問題冊子は、監督者が「解答始め」の指示をするまで開かないこと。
- 2 問題冊子は、全部で2ページである。  
解答用紙は、全部で8ページである。  
問題冊子、解答用紙に脱落のあった場合には申し出ること。
- 3 解答用紙の上部所定欄に、1ページには氏名、受験番号、試験の科目名を、2ページ以降は各ページに氏名を忘れずに記入すること。
- 4 解答は、第1問は1ページから、第2問は5ページから記入すること。
- 5 解答以外のことを書いたときは無効とすることがある。
- 6 机上に各自の「受験票」と「大学入試センター法科大学院適性試験受験票」を出しておくこと。
- 7 解答用紙は、8ページを超えて使用することはできない。

第1問 (刑法)

Xは、生活費欲しさに、自己が勤務していたスナックの経営者Aから金品を窃取しようとして、息子のY（年齢12歳6ヶ月、中学1年。身長約160cm、体重約70kg）に対し、「Aのところへ行って、お金をとってきて。Aはいつも店の売上金をバッグに入れているのよ。」等と、スナックへの侵入経路や金品のありかを教え、それを盗んでくるよう指示命令をした。Yは、「自分がスナックなんかに入ったら変に目立つ。」といやがっていたが、Xは、「お前は体が大きいから子どもには見えない。大丈夫。」等と言って説得し、予め用意していた覆面用スキーマスクをYに交付した。そこで、これを承諾したYは、覆面をつけ、さらに護身用として、自分もっていた玩具のエアガンを携えてAの店に赴いた。Yは、Xの指示どおり売上金が入ったバッグを見つけたが、Aに見つかり騒がれそうになったため、自己の判断で、店の出入口のシャッターを下ろしたり、Aにエアガンを拳銃であるかのように装って突きつけて脅し、トイレに入るよう指示してトイレに閉じこめる等したうえで、Aのバッグに入った現金40万円を抜き取り立ち去った。Xは、自宅に戻ってきたYから現金を受け取り、生活費等に消費した。X、Yの罪責を論じなさい。

(配点：60点)

(刑事法)

第 2 問 (刑事訴訟法)

おとり捜査について、最高裁判例にも言及しながら、その適法性を論じなさい。

(配点：40 点)